

2026 年 遠賀町・岡垣町・水巻町 合同会社説明会

学校関係者アンケート集計報告

本資料は、学校関係者等を対象に実施した合同会社説明会に関するアンケート結果を、設問ごとのグラフとコメントにより整理したものです。基本設問は 12 件の回答があり、「必要」と回答した方への設問は 8 件、就職支援上の困りごとは 5 件、その他要望は 2 件の回答となっています。

1. 集計概要

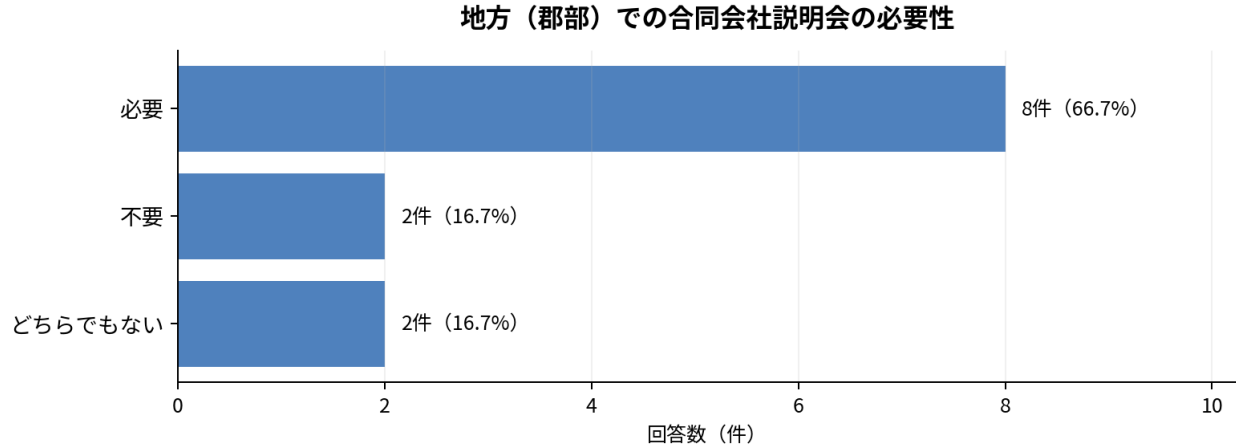
対象	学校関係者等
基本設問の回答数	12 件
地方（郡部）での合同会社説明会	「必要」 66.7%（8 件）
必要と回答した方の希望開催形態	リアル開催 62.5%（5 件）／どちらも必要 25.0%（2 件）
紹介しやすい説明会規模	「特に規模は関係なし」 58.3%（7 件）

主なポイント

- 地方（郡部）での合同会社説明会を「必要」とする回答が 66.7%で過半数を占める一方、「不要」「どちらでもない」も各 16.7%あり、学校側では開催方法や内容の充実も重視されている。
- 「必要」と回答した 8 件のうち、リアル開催が 62.5%、リアル・オンラインの両方が必要との回答が 25.0%で、対面機会を求める回答は合計 87.5%となった。
- 説明会の企業数については「特に規模は関係なし」が 58.3%で最多となり、単純な参加企業数よりも情報の質やマッチングのしやすさが重要とみられる。
- 自由記述では、地元就職・通勤圏の情報、住居・生活支援、給与・福利厚生に加え、留学生・外国人材の就職・採用支援が課題として挙げられた。

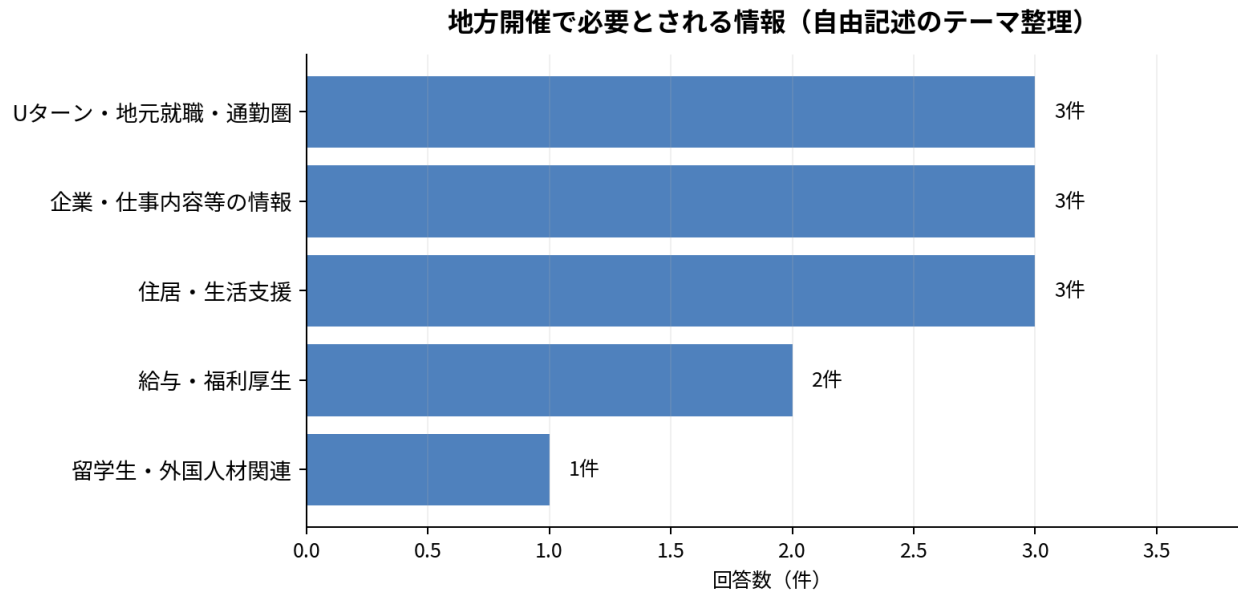
2. 設問別集計・コメント

設問① 都心部ではなく地方（郡部）での合同会社説明会についてどのように思われますか



【コメント】 12 件の回答のうち、「必要」が 66.7%（8 件）で最多となりました。「不要」と「どちらでもない」はそれぞれ 16.7%（各 2 件）です。地方での合同会社説明会には一定の需要が認められる一方、全員が必要と考えているわけではありません。学校関係者に継続的に案内・活用してもらうためには、開催すること自体だけでなく、学生・生徒を紹介しやすい企業構成、分かりやすい求人情報、交通・参加のしやすさなどを整えることが重要と考えられます。

設問②ー1 「必要」と回答された方：地方（郡部）での合同会社説明会で必要な情報内容はどのようなことですか



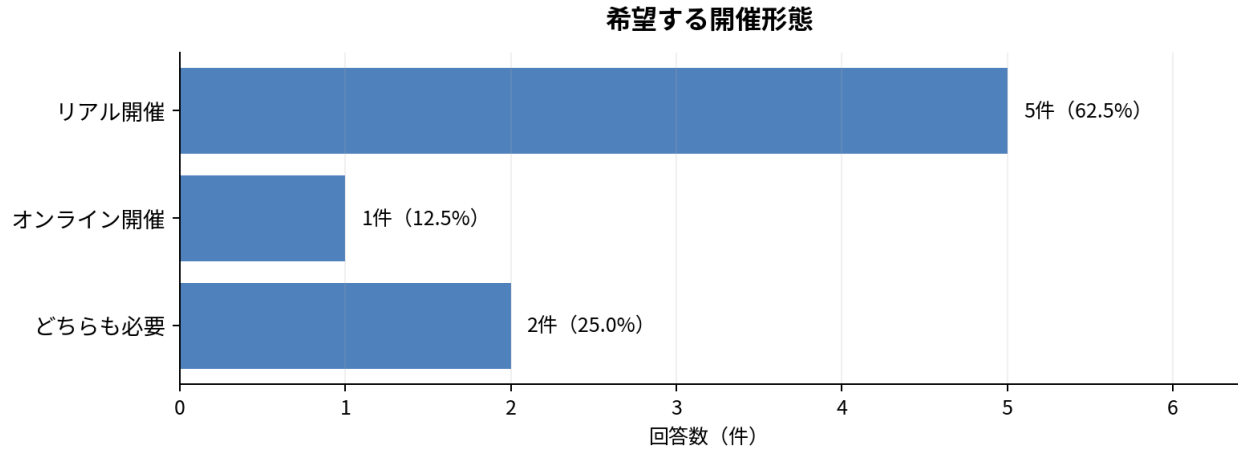
※自由記述をテーマ別に整理。1回答を複数テーマに計上しています。

テーマ	件数	内容の整理
U ターン・地元就職・通勤圏	3 件	U ターン、都市圏以外の就労先、地元・自宅から通える就職先など
企業・仕事内容等の情報	3 件	企業情報、仕事内容、就労先の具体的な情報など
住居・生活支援	3 件	社宅、住宅支援、居住確保、生活支援制度など
給与・福利厚生	2 件	給与、福利厚生、家族を養う上での支援体制など
留学生・外国人材関連	1 件	留学生採用の現状、在留資格別の採用方法、生活支援など

※8 件の自由記述を内容別に整理しており、1 つの回答に複数のテーマが含まれる場合は重複して計上しています。

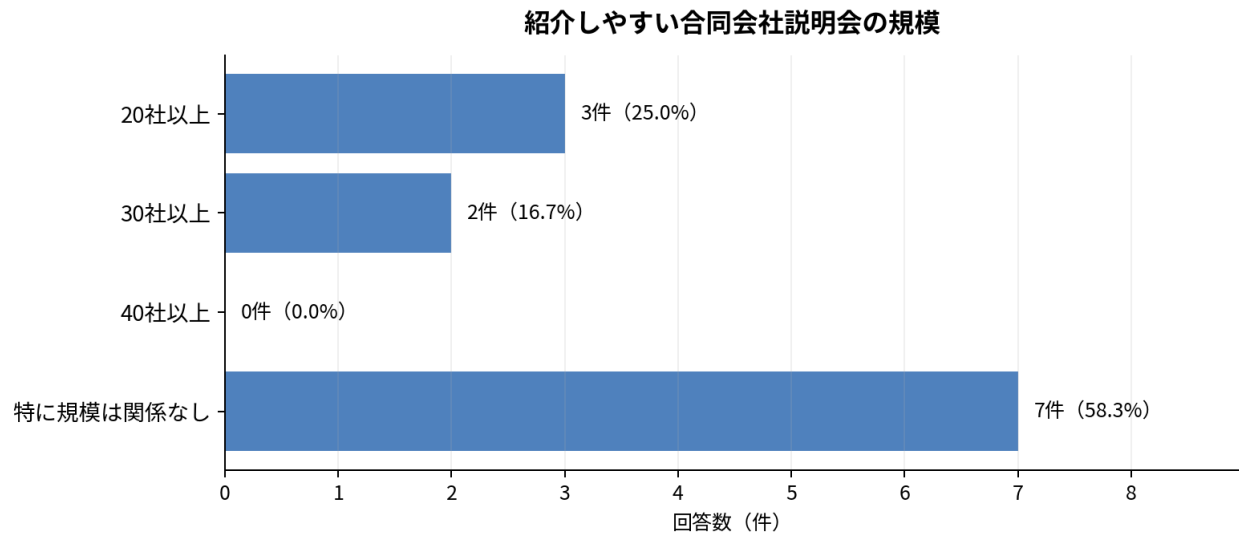
【コメント】 8 件の自由記述を整理すると、「U ターン・地元就職・通勤圏」「企業・仕事内容等の情報」「住居・生活支援」が各 3 件と多く、「給与・福利厚生」が 2 件、「留学生・外国人材関連」が 1 件挙げられました。単に求人票上の仕事内容を示すだけでなく、地元で働き生活する姿を具体的にイメージできる情報が求められています。特に社宅・住宅支援、家族を含めた福利厚生、通勤圏、外国人材の採用・生活支援などを企業情報に盛り込むことで、学校側が学生・生徒や求職者へ紹介しやすくなると考えられます。

設問②-2 「必要」と回答された方：リアル開催とオンライン開催どちらがよろしいですか



【コメント】 8 件の回答では、「リアル開催」が 62.5% (5 件) で最多となり、「どちらも必要」が 25.0% (2 件)、「オンライン開催」が 12.5% (1 件) でした。リアル開催を含む選択肢を合計すると 87.5% (7 件) となり、学校関係者は企業担当者と直接話せる対面の機会を高く評価していることが分かります。一方、オンラインにも一定の需要があるため、基本はリアル開催としつつ、事前の企業紹介動画やオンライン説明、遠方者向けの補完手段を組み合わせる方法が有効と考えられます。

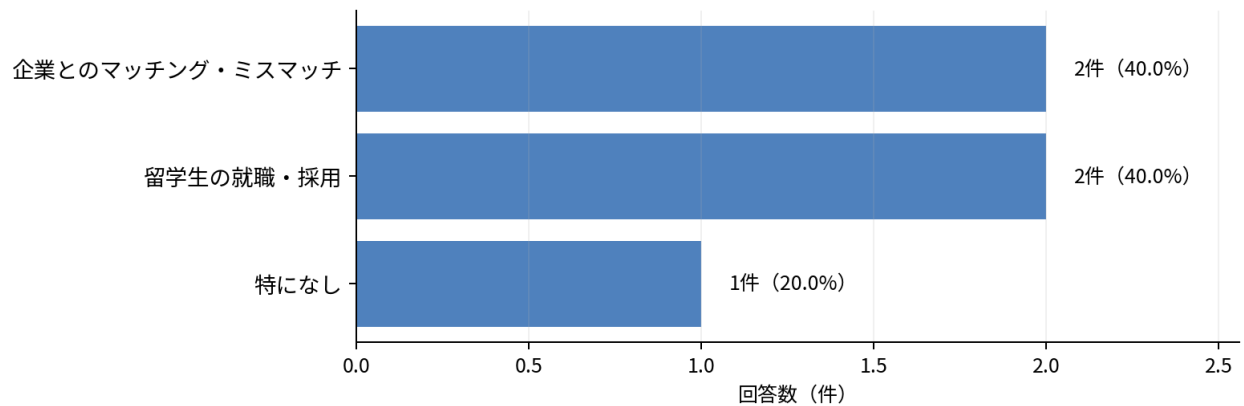
設問③ 地方（郡部）での合同会社説明会の規模として、学生（生徒）の皆様へご紹介しやすいでしょうか



【コメント】 12 件の回答では、「特に規模は関係なし」が 58.3%（7 件）で最多でした。「20 社以上」が 25.0%（3 件）、「30 社以上」が 16.7%（2 件）で、「40 社以上」は 0 件でした。学校側にとっては、参加企業数を増やすことだけが紹介のしやすさにつながるわけではないことが示されています。企業数よりも、学生・生徒の希望職種に合う企業があるか、企業情報が分かりやすいか、面談しやすい運営になっているかなど、内容面の充実を優先することが重要です。

設問④ 就職支援を行う上でお困りの内容

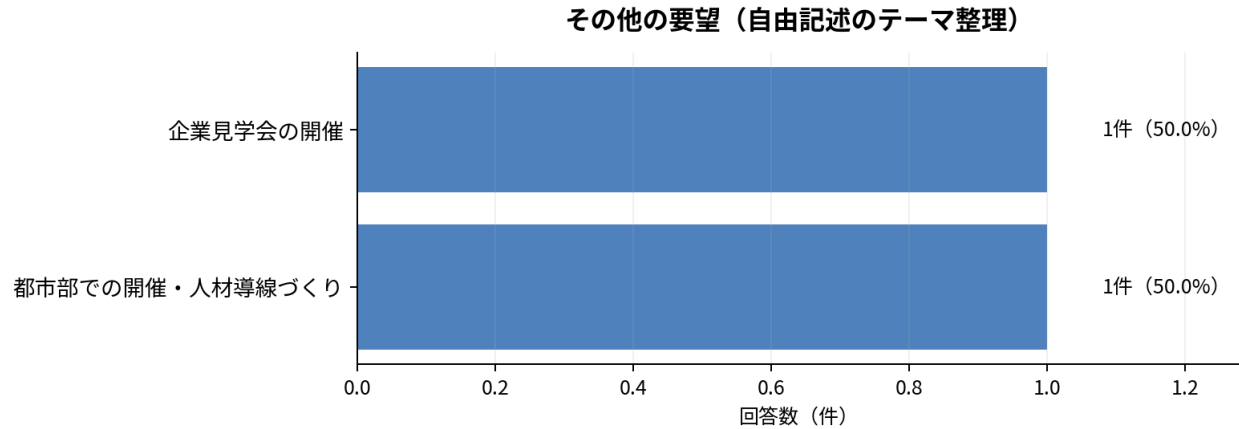
就職支援上の困りごと（自由記述のテーマ整理）



テーマ	件数	内容の整理
企業とのマッチング・ミスマッチ	2 件	企業とのマッチング、求職者の希望と企業が求める人材とのミスマッチ
留学生の就職・採用	2 件	留学生の就職、在留・入管手続きや日本語能力を含む採用上の課題
特になし	1 件	現時点では特に困りごとはないとの回答

【コメント】5 件の回答のうち、「企業とのマッチング・ミスマッチ」に関する内容が 2 件、「留学生の就職・採用」に関する内容が 2 件、「特になし」が 1 件でした。企業が求める人材像と求職者の希望条件のずれを小さくする仕組みと、留学生・外国人材の就職に関する専門的な情報提供が主な課題として表れています。合同会社説明会では、事前に希望職種や条件を把握して企業を案内する仕組みや、外国人材の採用可否・在留資格・必要な日本語能力等を企業情報に明示することが、学校側の就職支援を後押しすると考えられます。

設問⑤ その他ご要望があればご記入ください



テーマ	件数	内容の整理
企業見学会の開催	1 件	企業をより具体的に知るための見学機会を希望
都市部での開催・人材導線づくり	1 件	地域内外から参加しやすい場所で開催し、対象地域の企業へつなぐ考え方

【コメント】2 件の要望として、「企業見学会等を開催してほしい」との意見と、「地域への人材導線をつくるため、合同会社説明会自体は参加しやすい都市部で開催してはどうか」との意見がありました。いずれも、説明会当日だけで完結させず、企業をより深く知る機会や、地域外の人材も参加しやすい入口を設けることを求める内容です。今後は、企業見学会・職場体験等への接続や、都市部での PR・ミニ説明会、オンラインでの事前周知などを組み合わせることで、遠賀町・岡垣町・水巻町の企業へ人材を誘導する取組を検討する余地があります。

3. 総評

今回の学校関係者アンケートでは、地方（郡部）での合同会社説明会を「必要」とする回答が 66.7%となり、過半数の支持が確認されました。一方で「不要」「どちらでもない」とする回答も合わせて 33.4%あり、学校関係者にとっては、単に地域で説明会を開催するだけではなく、学生・生徒や求職者へ紹介するメリットが明確であることが重要と考えられます。

開催形態については、「リアル開催」が 62.5%、「どちらも必要」が 25.0%で、対面形式を含む回答が 87.5%を占めました。企業担当者と直接話し、職場の雰囲気や仕事内容を確認できる対面機会は高く評価されています。その一方でオンライン開催を求める回答もあるため、リアル開催を中心に、開催前の企業紹介動画・オンライン説明等を補完的に活用する形が適しています。

説明会の規模については、「特に規模は関係なし」が 58.3%で最も多く、学校側は企業数の多さそのものよりも、学生・生徒に合った企業を紹介できることや、企業情報の分かりやすさ、面談のしやすさを重視していると考えられます。参加企業数を増やすことを主目的とするより、業種・職種のバランスや求人条件の見える化、学校ごとのニーズに沿った企業選定を進めることが有効です。

自由記述では、U ターン・地元就職・通勤圏、社宅や住宅支援、給与・福利厚生、家族を含めた生活支援など、「地域で働き続けるための情報」が多く求められました。また、留学生・外国人材の就職・採用についても複数の課題が挙げられており、在留資格、採用可否、日本語能力、居住・生活支援等を企業情報として整理することが、学校側の紹介のしやすさにつながります。

今後は、説明会当日の企業説明だけでなく、学校と企業との事前マッチング、企業見学会への接続、都市部やオンラインを活用した地域外人材への周知まで含めた一連の人材導線をつくることが重要です。「企業を集める説明会」から「学校が紹介しやすく、求職者が地域企業を具体的に選べる説明会」へ発展させることで、採用成果の向上が期待できます。

今後に向けた改善ポイント

- 企業情報の共通項目として、仕事内容・給与・福利厚生に加え、通勤圏、社宅・住宅支援、家族支援、外国人材の採用可否等を整理して掲載する。
- 学校ごとに希望職種や対象学生の特徴を事前に把握し、該当企業を案内する「事前マッチング」を強化する。
- リアル開催を基本としつつ、企業紹介動画・オンライン説明等を事前情報として活用し、当日の面談を深める。
- 企業見学会や職場体験等を説明会後の次のステップとして用意し、応募・採用につながる接点を増やす。
- 留学生・外国人材について、在留資格、採用手続き、日本語能力、生活支援等に関する情報提供・相談体制を充実させる。
- 地域外の求職者にも届くよう、都市部での PR や関連イベントとの連携など、人材を地域企業へ誘導する入口づくりを検討する。

【集計上の留意点】 自由記述のテーマ別件数は、回答内容を要約・分類したものです。設問②-1 については 1 つの回答に複数テーマが含まれるため、テーマ別件数の合計は回答数 8 件を上回ります。